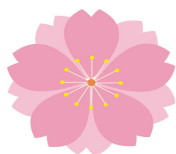


平成24年度 よろっさ やろっさ つなごっさ! 春 まち ぽかぽか プロジェクト



かわらばん! プログラム 8

能美市民防災ネットワーク研修会

～災害ボランティアセンター運営訓練をやってみよう～



「災害ボランティアセンターの機能・役割を知ろう!」

3月3日(日) 午後1時30分から3時30分まで ふれあいプラザにおいて、災害ボランティアセンター運営体験を行いました。市民の方92名の方が来場されました。

月	火	水	木	金	土	日
				3/1	3/2	3/3
3/4	3/5	3/6	3/7	3/8	3/9	3/10

内 容

災害時にボランティア被災者と活動者をつなげる「災害ボランティアセンター」を、より多くの市民に知ってもらうことを目的に開催しました。日本赤十字奉仕団石川県支部 防災ボランティアリーダー 北村裕一氏の指導のもと、前半は東日本大震災、浅野川の氾濫での災害についての振り返りと、災害ボランティアセンターの機能や運営を学びました。後半は実際に災害ボランティアセンターを立ち上げてから起こりうる運営課題、問題点などについて、役割班ごとに分かりやすく会話形式で紹介しました。

- ・データの把握、関係機関との連絡調整、苦情対応などを行う「総務班」
- ・被災住民からのニーズの受付を行う「ニーズ調査受付班」

などについて説明を聞きました。

まとめ

講師の北村氏から「この研修会を通して、災害ボランティアセンターの機能・運営を知っていただく事、また、発災直後からの時間・段階(フェイズ)によってニーズも変化し、災害ボランティアセンター自身の役割も変わっていく事を、皆さんが理解して欲しい」と総括をされ、発災時の各々の関わり方を考えました。

参加者の感想

- ・災害は無いに越したことはないが、準備・備えが一番大切。
- ・被災者の立場、また、ボランティアの立場と、どちら側になっても、慌てずに行動するためにも、災害・防災知識が必要である
- ・北村氏の説明で、災害ボランティアセンターの役割・機能が理解できた。
- ・災害ボランティアセンターが立ち上がった時には、地域(町(内)会)での、周知が必要だと感じた。
- ・実際に、災害ボランティアセンターを見てみないと分からない。・・・など



参加者の皆さんは、災害時、自分に出来る事を熱心に考えていました。



北村氏から「皆さんの協力があって、災害ボランティアセンターの運営が成り立つ」と言われました。